

2019年度
予算要望書



高崎市議会公明党

2018年(平成30年)10月

2018 年(平成 30 年)10 月 31 日

高崎市長 富岡賢治 様

高崎市議会公明党

木暮 孝夫

逆瀬川義久

丸山 寛

新保 克佳

小野 聡子

2019 年度 予算要望書

日頃より高崎市議会公明党に対して、深きご理解と、ひとかたならぬお力添えをいただき誠にありがとうございます。

市長におかれましては、ご就任より今日までの 7 年半、「新しい高崎」とのキャッチフレーズを掲げ、ビジネスを活性化させ、税収基盤の強化を図り、福祉や教育、子育て支援などを充実させるとの一貫した方針で、スピーディーに力強く市政を進めていただきました。結果、この間に高崎市は大きな変貌を遂げ、都市としての評価は大きく高まりました。さらに明年には待望の高崎芸術劇場が堂々の完成を迎えます。

多くの市民は、こうした高崎市の発展に最大の賛辞を送っており、2019 年度の尚一層の発展と暮らしの充実を期待しております。

さて本要望書は、「大衆とともに」との立党精神に基づき、生活者目線、現場第一主義に徹した私たち高崎市議会公明党が、日頃の市民相談で頂いたご要望やご意見を、現地調査を踏まえて集約したものです。

慎重な財政運営が求められる状況下ではありますが、高崎市民が期待する福祉の充実や安心と安全の構築など市民生活の向上のために、特段の配慮をもって予算編成に反映して頂きますよう要望致します。

◆医療・健康（6項目）

1. 人生100年時代 日本一の健康寿命を目指し効果的な事業の創設を」

高崎市が実施する特定検診やがん検診、また各種保健事業やスポーツイベントなどに参加することに対しインセンティブを付与し、メタボ解消・糖尿病予防・ロコモ予防や健康増進を後押しする、誰もが取り組める事業の創設を要望します。

2. 特別な理由によるワクチン再接種費用の助成を

定期予防接種を実施したのちに、小児がんや骨髄移植などで抗体を失った子供がワクチンを再接種する場合に現状では再接種費用は自己負担です。骨髄移植などの特別な理由によるワクチン再接種費用の助成制度の導入を要望します。

3. 市の検診に子どもの肥満を予防するメニューの新設を

生活習慣病が大人だけでなく子どもにおいても大きな社会問題となっています。肥満の予防・改善に向け市の検診に子どもの肥満を予防するメニューの新設を要望します。

4. 治療中のガン患者へのアピアランス支援を

がん患者を対象としたウィッグ（かつら）や胸部補正具の助成制度の創設と、治療にともなう外見変化の悩みをサポートする、美容業生活衛生同業組合等との協働によるアピアランス・サポート相談室の設置を要望します。

5. 胃がん撲滅のため、ピロリ菌検診の受診率向上対策を

胃がんの主な原因はピロリ菌である。現在、ピロリ菌検診や除菌治療は小児医療の対象となっていない。成人保健の対象年齢は16歳からなので、高校生等に対するピロリ菌検診を推奨すれば早期にピロリ菌保菌者を発見できる。保菌者はその後にピロリ菌除菌を行えば、その後の胃がんリスクを低く抑えることが可能となる。高崎市民のピロリ菌保菌者をゼロにし、定期検診により早期発見・早期治療が徹底できれば、将来、胃がん撲滅が可能になると考えますので、ピロリ菌検診受診率の向上対策を要望します。

6. がん対策の更なる充実とがん予防の推進を

正しくがんを知り生活習慣の改善や、がん検診の受診など予防行動につながる、充実したがん教育の推進を小・中学校で実施することを要望します。

◆高齢者支援(6項目)

1. 高齢者の特殊詐欺被害予防のための対策として、効果的な録音式電話の貸出を

高齢者を狙った特殊詐欺が年々巧妙化し被害額が増えている。そこで、効果があると言われている録音式電話の貸出事業を要望します。

2. 成年後見制度の利用促進を

今後、利用者の増加が見込まれるため市に専門の相談窓口の設置を要望します。

3. 市による葬儀の生前契約仲介や終活情報生前登録できるような体制を

ひとり暮らしの多くの市民は自身が亡き後、希望通りの葬儀が行えるのかといった人生の終い方に漠然とした心配を抱えています。一方、身寄りのない方々の火葬費用は市が負担しています。こうした生前の望みに寄り添い、市の負担を減らすために、市による市民の終活情報事前登録事業を要望します。

4. 医療・介護の連携強化策を

医療と介護の両方のサービスを必要とする高齢者を支えるためには、医療と介護が連携し、切れ目なく一体的にサービスが提供される必要があります。2か所の医療介護連携相談センターが設置されていますが、さらに医療職と介護職の顔が見える関係づくりの強化を要望します。

5. 既存の公共交通を補完する施策を総動員し移動困難者・地域の改善を

ぐるりん等の公共交通が通っていない地域にお住まいの方や移動が困難な高齢者に対する施策を要望します。

6. 買い物タクシーチケット配布事業の拡充等で高齢者の足の確保を

現行の買い物タクシーチケット配布事業では、近隣のスーパーまでの距離が遠い支所地域などではチケットの枚数が不足する。また診療所への立ち寄りも要望としてある。これらの点を改善し使い勝手を良くすることを要望します。

◆障がい者支援(10 項目)

1. 障がい者の自立支援を

障がい者・企業の双方が理解を深められるよう、高崎商工会議所の協力も得ながら障害事業所や利用者と企業等をマッチングする就労説明会の場を定期的に設けることを要望します。

2. 就労の定着のための支援を

就労の定着を図るため障害事業所と企業及び高崎商工会議所にジョブコーチを配置することを要望します。

3. 引きこもりの長期化を防ぐ対策を

自立にむけた包括的な支援を行うために、保健医療・福祉部局・教育委員会や民間機関等が連携協力する仕組みの創設を要望します。また、就労準備支援事業や認定就労訓練事業などを活用して就労・就労定着を推進することを要望します。

4. ペアレントメンター事業の創設を

発達障がいのある子どもを育てた親が、同じ悩みを抱える親の相談に応じる「ペアレントメンター」の養成と、ペアレントメンターによる相談体制を積極的に整備し、発達障がい児の家族支援を要望します。

5. 農福連携から高崎ブランドの優良商品を

商工部、農政部との横断的な連携で、障がい特性を生かした製品の開発、販売を支援するしくみ作りを要望します。

6. 障害者文化芸術活動推進法の推進を

障がい者による文化芸術活動を強力に後押しすることと、障がい者が文化芸術に触れる機会の拡大を要望します。

7. 総合福祉センターのカラオケ無料化を

現状は指定管理のため有利になっているが、カラオケ室を管理するボランティアスタッフの活用等による無料化を要望します。

8. 県内初となる福祉型専攻科の開設を

ゆっくり成長する障がい児・者の将来の自立につながる力をつけ、秘めた可能性を引き出すのに有効とされる福祉型専攻科の開設を要望します。

9. 合理的配慮の提供を推進する支援を

共生のまちづくりを進めるため、市有施設のトイレに移動式のおむつ交換ベッドの設置を要望します。
さらに、民間事業者が進める合理的配慮の提供を支援する助成制度の創設を要望します。

10. 福祉タクシー利用券対象事業者の拡充を

障がい者や介助が必要な高齢者にとって介助付きの福祉タクシーは大切な移動手段であり、福祉タクシー利用券は高評価の事業です。しかし現在、本市及び前橋市以外の市町村に所在地を置く福祉タクシー事業者は制度の対象から外れています。全ての福祉タクシー事業者をお認めいただけるよう要望します。

◆子育て支援・教育(16項目)

1. 乳児用液体ミルクの備えを

液体ミルクは常温で保存でき、ふたを開けて吸い口をつければ直ぐに飲める。水や燃料が確保できない災害時に極めて有効なので、備えを要望します。

2. 産後ケア事業の創設を

産後の育児不安や体調不良時など、お母さんに寄り添った専門家による心身のケアや育児相談を行える、日帰りや宿泊型の産後ケアの創設を要望します。

3. 小・中学生のカバンの重さについて再調査を

小・中学生のカバンの重さが全国的に問題になっています。学校だけでなく、保護者や子どもと一緒に考え解決することを要望します。

4. 猛暑対策として特別教室や給食室へのエアコン整備と体育館の屋根への遮熱塗装を

今年の夏は猛暑で命に関わるような異常気象であった。地球温暖化の影響であり今後には備えなければならない。そこで、学校施設は避難所施設でもあるので熱中症予防のためエアコン未設置の特別教室や給食室への整備や、体育館には屋根に遮熱効果のある塗料の対策を講じて頂くよう要望します。

5. 医療的ケア児への支援を

ケア児が安心して学び、生活できる学校での支援体制や在宅支援の早期の充実を要望します。

6. 妊産婦や乳幼児に対する教室や検診を活用し、母子の視点での防災教育を

災害時要配慮者である妊産婦・乳幼児を抱える保護者が負担なく学び実践できる学習の機会を災害対策と子育て支援の観点から要望します。

7. L G B Tの理解を進める対応を

L G B Tを正しく理解する機会を学校教育の場で設けることを要望します。

8. 悩みを抱える児童・生徒が安心して相談できるよう、専用アプリを活用した相談体制の構築を

いじめ問題の解決には、いじめに気付いた周りの人の存在が大きいとされています。生徒が匿名で負担なく相談や通報ができ、いじめの傍観を防ぐ効果があるアプリ「STOP i t (ストップイット)」等の導入を要望します。

9. 子どものための室内施設の充実を

毎年大好評のたかさきキッズパークの常設と、子ども図書館の新設を要望します。

10. 子どもたちの放課後の居場所づくりを

現在高崎市においては、学校、家庭、地域が連携した学力アップ大作戦として、放課後や土曜日に学校の使用可能な教室などを活用して学習会を行っているが、それをさらに広げて、子どもたちの放課後や長期休業期間中の居場所づくりとしての、放課後子ども教室の推進を要望します。

11. 高崎市立高崎特別支援学校の新設・増設を

障がい児・者への理解が深まり、特別支援教育への期待が高まっておりますが、そうした中で市立特別支援学校の校舎は老朽化が著しく、既に現有施設での努力、工夫は限界が近づいており新校舎の設置を要望します。

12. 中学校通級指導教室の増設と高校通級指導教室の新設を

通級ニーズが高まる中、新たな中学校通級指導教室の増設を要望します。併せて、切れ目のない支援のため高校通級教室の開設を要望します。

13. 不登校の児童・生徒をサポートする多様な教育機会の充実を

適応指導教室に通えない児童に対して、放課後等デイサービスなどの社会資源を活用した、多様な教育の場や居場所作りを要望します。

14. スクールソーシャルワーカー等専門職の更なる処遇改善と増員を

教員が児童生徒に向き合える実時間の確保をするため、又、支援が必要な家庭に対応するため、更なる専門職の増員と処遇の改善を要望します。

15. 小中学校の適正配置と地域コミュニティの適正維持についての方針を

少子化・学校の老朽化が進み、厳しき財政状況を考えると学校の適正配置・統廃合を考慮しなければなりません。一方で小学校区単位の地域コミュニティの支え手の高齢化・人材難も深刻です。学校と地域の適正な配置について具体的の方針を定めるよう要望します。

16. 幼児教育無償化に対応する体制の準備と拡充を

2019年からの幼児教育無償化にあたり、円滑に執行されるよう準備し、本市としての制度の拡充を要望します。

◆暮らし・身の周り（6項目）

1. フードロス削減へ支援を

外食時の食べ残しを削減する啓発活動の推進と、市有施設へフードバンクポストを新設しフードドライブ事業の強化を要望します。

2. ユニバーサルデザインの推進

障がいや年齢に関係なく安心して移動などができるユニバーサルデザインのまちづくりは本市のシティブランドの向上や観光振興への効果が期待されます。市庁舎正面玄関前スペースへの駐車場設置など市有施設へのユニバーサルデザイン化の一層の推進を要望します。

3. 親元の近くに住まいを移すことによる定住促進策を

祖父母が育児や子育てのサポートをすることにより、不安や負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを要望します。

4. 歩きたばこや路上喫煙による受動喫煙を防止する取り組みを

分煙を推進する喫煙コーナーや、禁煙を促す掲示板や路面標示の設置を要望します。

5. 燃やせるごみの減量対策として、生ごみの水切り徹底の市民運動を

本市の燃やせるごみの63%が生ごみで、その内の75%が水分であるとの分析結果である。不名誉な全国ワーストランキングから脱却するため、誰でもできる取り組みにより市民運動を展開するよう要望します。

6. 飼い主のいない猫対策として地域猫活動の啓発を

人と飼い主のいない猫が共生していくための有効な方法の一つである「地域ねこ活動」のさらなる啓発活動の推進を要望します。

◆災害対策(6項目)

1. 防災情報スピーカーの追加設置を

現在3ヵ年計画で防災情報スピーカーの設置が進められておりますが、2つのスピーカーが建物(校舎)の片側に片寄ってついている所もあり反対方向への追加設置を要望します。

2. 戸別受信機(防災ラジオ)の導入を

災害時の情報提供については、これまで様々な手段で情報が伝わるよう整備をしてきましたが、更なる充実を図る為、情報発信時に自動でスイッチオンになる防災ラジオを高齢者や障害者世帯の希望者へ配布するよう要望します。

3. マイ・タイムラインの推進で自助・共助の底上げを

逃げ遅れゼロをめざし、市民や町内会のタイムライン作りを要望します。

4. 障害特性のある指定避難所として特別支援学校や通所施設への認定を

障害特性に配慮する避難所を確保するため、日常生活を過ごす特別支援学校や通所施設を指定避難所にすることを要望します。

5. 河川防災ステーション関連施設の充実を

頻発する豪雨災害から河川防災ステーションの設置は本市の防災力向上のために欠かせないものである。市民の避難施設などの施設設置を要望します。

6. 防火対象物の防火用設備等点検報告率の向上・改善への庁内横断的取組みの推進を

不特定多数の人々が集まる防火対象物の防火設備等点検報告率は依然として低いレベルにあります。市内の防火対象物所有者への周知徹底のため庁内横断的な取り組みを要望します。

◆産業振興・都市集客(3項目)

1. 上野三碑や箕輪城跡などの歴史遺産を生かした観光施策と地域活性化支援・周辺整備の推進を
現在、国内外の観光客のニーズとして体験型観光がキーワードとなっています。そうしたニーズを捉えるために、バーチャルリアリティ（VR）を活用して本市にある歴史遺産を生かした観光施策の導入を要望します。

また上野三碑の保護・活性化活動を推進している地元地域団体への引き続きの支援、高崎自然歩道や周辺道路・交通網の整備促進を要望します。

2. 本市の農産物を販売する施設の拡充を

本市の頑張る農家の要望として農産物販売所の拡充があります。特に本市東南部には販売所が少ないためこうした地域への設置を要望します。

3. スポーツツーリズム振興で高崎ブランドの一層の推進を

少年世代のスポーツ大会は家族等で参加することが見込まれることから、市外からの誘客効果があり、賑わいの創出に繋がるものと期待される。また本市には一流アスリートやチームが在住・在籍しており、こうしたアスリートの存在が高崎ブランドの向上を担うことも期待されます。こうした視点からのスポーツツーリズムの推進やアスリートへの具体的支援などスポーツ振興を要望します。

◆都市基盤整備（８項目）

1. 都市計画道路・南八幡京ヶ島線の早期全線開通を

本市を南北方向に縦貫する重要な幹線道路であり、未開通 1.1 キロメートルの南八幡京ヶ島線の全線早期開通を要望します。

2. 雁行川の土砂の浚渫を

井野川、榛名白川に続き、ぜひ雁行川の土砂も堆積しているので、浚渫をしていただきたい。

3. 側溝の浚渫作業にかかる予算の計画的措置を

側溝の浚渫は個人で行うことが難しい状況にあるため、計画的な浚渫で豪雨等の災害に備えることを要望します。

4. 道路橋りょう維持・改良に対する予算の大幅な増額を

道路の経年劣化が目立ち道路の穴凹などが発生しやすい現状となっているが、要望地域からはスピード感を持った対応が望まれている。年間予算の増額を要望します。

5. 市有施設のトイレ洋式化対策を

市民の洋式トイレ使用が一般的になっている中、市有施設のトイレは、未だ和式トイレが数多い。市としての具体的な改修目標を設定し計画的な整備方針を打ち出すよう要望します。

6. 放置空き家の解消対策を

大きな成果を上げている空き家緊急総合対策事業に続き、放置老朽空き家対策についても実効性のある強化策が必要と考える。関連法の運用で、具体的な事例を解決するよう要望します。

7. 箕郷地域に住宅困窮者対策を

高崎市内において箕郷地域だけ市営住宅がなく、高齢者や低所得者、子育て世帯など向けに空き家・室の積極的な活用を要望します。

8. 東二条線 弓町から北側の拡幅を

現在、通勤通学の時間帯は慢性的に渋滞になっている。沿線には東小学校もあり、児童の登下校の安全性を心配する声も多数寄せられている。東二条線・弓町交差点から北側の拡幅の早期実現を要望します。

◆その他行政全般(3項目)

1. 選挙の投票がしやすい環境の整備を

合併により投票所の数が減った支所地域などの住民を対象に期日前投票期間に移動投票所をまわすとか、無料のマイクロバスを走らせる等、投票がしやすい環境の整備を要望します。

2. 事故防止と犯罪抑止のために全公用車にドライブレコーダーの設置を

ドライブレコーダーの価格も安くなり、現在では一般車にも相当普及が進んでいる。本市の全公用車に設置すれば、事故防止の抑止につながるし、動く防犯カメラとして犯罪の抑止にもつながるものだ。ぜひ、段階的でもいいので、設置を進めていただきたい。

3. 歴史民俗資料館の移設

小学校や高齢者施設からの見学者が、年々増加する傾向にある中で耐震性やバリアフリーの観点からも安心してご利用いただける施設が必要である。また、アクセスの点からも中心市街地の市有施設への移設を要望します。

以上、64項目について要望します。